

横須賀こころの電話通信

2017年12月 第2号 発行人 NPO法人横須賀こころの電話 中島直行

受付電話 046-830-5407 年中無休

相談事業所の住所は非公開です。

座間市の殺人事件に思う

ここ1ヶ月の社会面の事件報道は、神奈川県座間市で起きた高校生を含む若い女性たち9人が、SNSを通して知り合った男に殺された事件でもちきりである。少女たちは拠りどころのない心の寂しさを自殺願望として表現して投稿し、優しく口当たりのいい言葉でこれに應える犯人の男にいと簡単に心を許し、次々と事件に巻き込まれてしまったのである。

それにしても、死にたいと表現してこころの拠りどころを求めて、これほど多くの若者たちがネット上で浮遊している事実には私は愕然とし、電話相談機関を運営する者として無力感に襲われる。多くの若者たちはSNSには投稿しても、電話相談機関には掛けてこないのである。横須賀こころの電話でも若い人の電話はたいへん少ない。

ボランティアによる電話相談の原型は、イギリスの“サマリタンス”(1953年開始)であるが、そのきっかけは一人の少女の自殺であった。その後、日本では1971年、“いのちの電話”が開始されたが、ちょうど家電話が各家庭に普及した時代で、若者たちの通信ツールは電話が中心であり、電話相談の主なターゲットも若い人たちであった。その後、1990年代になると携帯電話が普及し、電話は家という家族の目のある場所から自由になった。さらに2000年代になると携帯で通話するのではなく、メールを打つことでコミュニケーションをとるようになった。この間に電話相談機関を利用する人は若者から中高年層に移っていった。

この状況を、電話相談機関が手をこまねいて見ていた訳ではない。FAX相談やメール相談を取り入れている相談機関が多数ある。あの夜回り先生として知られた水谷修氏も、パトロールから戻った後、すべてのメールをチェックして全部に返信しているという。

しかしこの方法は、双方向のコミュニケーションにはなっておらず、一方通行のメッセージの交換を超えられない欠点がある。さらに送信したメッセージが背景を抜きに一人歩きしてしまう危険性を伴う。メール相談を実施しているある県のいのちの電話では、メール相談を受けると、何人かの相談員で協議して回答メールを作成し、3日以内にメールで返信しているという。確かに不用意な返信の危険性は減弱するが、練り上げた完成文からは、相談の本質である“今、ここで”の力が失われているのではないかと危惧する。

通信手段の多様化で、現在、電話相談全体が曲がり角にある。中島自身は未だにネット社会に不案内であるが、今後はそれでは済まないのだと思う。今回の座間事件をきっかけに、電話相談側がSNS等の最新のコミュニケーション・ツールに大胆に入り込み、相談のネットワークを構築していかなければならない時代に来ているのだと思う。今後、電話相談機関の全国研究組織である日本電話相談学会でも、この問題に会を挙げて取り組み、これからの電話相談のあるべき姿を、ネットワークシステムの本格的活用を含めて提示する責任があるように思う。

(中島 直行)

横須賀こころの電話 ボランティア

第16期生 養成研修が始まりました

現在、ボランティアの深刻な人手不足が続いている為、毎年、夏になると応募者の方がどのくらい集まるのか、研修を開催できるだけの人数が集まるのか、戦々恐々となります。

そんな心配の中、今年度はお陰様で10名の応募があり、何とか16期生の養成研修を開催する事ができるようになり、9月1日～12月15日までの4ヶ月間、全12回の研修が始まりました。

養成研修の告知に関して、ご協力を頂いた方、関係機関の方々にお礼申し上げます。
(小林 哲也)

- ・ 来年、応募をしてみたい方 !
- ・ このボランティア活動に興味のある方 !

問合せ・申込み は

横須賀保健所 健康づくり課 TEL 046-822-4336

おくすり Q&A

— ちょっと お役立ちコラム — (その2)

(今回は薬の飲み合わせ)

Q 薬を牛乳やジュースで飲んでもいいですか？

A 薬は水かぬるま湯で飲むことが原則です。
お茶で飲んでも問題ありません。
抗生物質（テトラサイクリン系）や骨粗鬆症の薬を牛乳で飲んだり
血圧降下剤（カルシウム拮抗剤）をグレープフルーツジュースで飲むと
期待された薬の効果がでないことがあります。

Q 薬と食べ物にも飲み合わせがありますか？

A 血液サラサラの薬（ワーファリンなど）服用中に納豆を食べると薬の働きが悪くなり血栓が出来てしまう危険があります。
ブロッコリーやキャベツ、青汁の過剰摂取にも注意が必要です。

～ 市民講座のご案内 ～

日時 ; 平成30年2月17日(土)14時～16時30分

(開場13時30分～)

場所 ; 横須賀市勤労福祉会館<ヴェルクよこすか>

6階 第1会議室 (横須賀市日ノ出町1-5)

TEL 046-822-0202

「高年齢化するひきこもりにどう対応するか」

講師 明石紀久男氏

(インクルージョンネットかながわ・遊悠楽舎)

岡本圭太氏

(よこはま若者サポートステーション)

島田徳隆氏

(アンガージュマン・よこすか)

司会・進行 中島直行

(横須賀こころの電話)

共催 ; 特定非営利活動法人 横須賀こころの電話

特定非営利活動法人 アンガージュマンよこすか

こころの電話を支える皆さんからの一言 ～ その2 ～

「情けは人のためならず」

電話相談のボランティアを始めたのは、何か人の役に立つことがしたい、という思いからでした。相談という言葉から、迷いを持つ人にアドバイスすることをイメージしていたのかもしれませんが。

黙って人の話を聞くというのは思ったよりも難しいことでした。お話を聞かせていただいていると、「そうそう、私もそうだった」とか、「私はそうは思わない」とか私自身の気持ちが強く湧き上がってきてしまうのに気付かされました。

助言してあげたい「お節介心」も出てきてしまいます。「聴く」ことはそんな未熟な自分の気持ちに正面から向かうことでした。聴かせていただくことが私を少しずつ成長させてくれているのだと思います。

ご支援ありがとうございます

次の方々からご支援いただきました。感謝して報告申し上げます。（敬称略）

【 賛助会員 】

浜津 平一	竹永 久志	石井 和子	林 美佐子	野村 良彦
佐藤 一郎	尾形 京子	横山 幸子	鈴木 志織	三浦 陽子
伊藤 佐登子	新倉 清次	笹岡 千秋	丸本 晴美	小林 光男
社会福祉法人	湘南アフタケア協会		宗教法人 実相寺	

【 寄付者 】

白鳥 茂子	森川 葉子	小島あけみ	関屋 生子	中島 直行
西山 高子	石井 央	田中 佐貴子	清水 恵子	岡本 奈緒美
青木 祐子				
日本基督教団東湘南地区信徒大会				

横須賀こころの電話 財政支援のお願い

当電話は、横須賀市より委託され、運営を行っておりますが、年中無休で開設している事もあり、慢性的な人手不足が続き、維持継続していくのが非常に厳しい状況です。併せて、横須賀市からの委託費だけに頼る財政基盤の弱さもあり、財政面でも非常に厳しい状況となっております。

そこで、ぜひ多くの横須賀市民の皆さんに「横須賀こころの電話」事業を広く知って頂き、「賛助会員」としての幅広いご支援をお願いできればと存じます。

今後、財政基盤を確かなものとし、さらなる事業の工夫を通して、市民のこころの健康づくりに貢献して行きたいと存じます。

皆様のご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

年会費

賛助会員	個人	1口	1000円	(1口以上)
	団体	1口	1000円	(1口以上)

振込先

ゆうちょ銀行	横浜貯金事務センター
口座記号番号	00280-5-137455
加入者名	特定非営利活動法人 横須賀こころの電話